

登録簿(鳥獣保護管理捕獲コーディネーター)

登録番号	C20001		
(ふりがな) 氏名	いわの ひさなり 岩野 恒尚		
連絡先	名称	株式会社 Rock Field	
	役職	代表取締役	
専門分野	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター		
専門とする鳥獣	<input checked="" type="checkbox"/> イノシシ <input checked="" type="checkbox"/> ニホンジカ <input type="checkbox"/> ツキノワグマ <input type="checkbox"/> ヒグマ <input type="checkbox"/> サル <input type="checkbox"/> カモシカ <input type="checkbox"/> カワウ <input checked="" type="checkbox"/> 外来種 (キョン) <input type="checkbox"/> その他 ()		
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 北海道 <input checked="" type="checkbox"/> 東北 <input checked="" type="checkbox"/> 関東 <input checked="" type="checkbox"/> 北陸 <input checked="" type="checkbox"/> 中部 <input checked="" type="checkbox"/> 近畿 <input checked="" type="checkbox"/> 中国 <input checked="" type="checkbox"/> 四国 <input checked="" type="checkbox"/> 九州 <input checked="" type="checkbox"/> 沖縄		
鳥獣保護管理活動の経歴	<p>平成23年度から現在まで、国立公園や鳥獣保護区等において個体数調整事業や指定管理鳥獣捕獲等事業(夜間銃猟含む)を全国的に実施してきた。また、小笠原諸島や伊豆大島ではノヤギやキョンといった特定外来生物の根絶を実施してきた。外来種対策では探索犬を用いた捕獲手法を考案し、実践している。</p> <p style="text-align: right;">農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録</p>		

○登録者の住所、電話番号、FAX番号、E-mailに関わる情報については、利用者が利用申請書を運営事務局へ提出した場合には、当該利用者に限り情報の提供をします。

鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

岩野 恒尚

株式会社 Rock Field

対象鳥獣

キョン

活動地域

東京都
(大島町)

● 事業内容

- (1) キョン防除事業
- (2) 市街地新規事業区捕獲コーディネーター業務

■ 事業の背景

東京都大島町では特定外来生物であるキョンが野生化し、在来生態系への影響や、農作物被害などが確認されている。これを受けて、東京都は東京都キョン防除実施計画を策定し、対策を講じている。

■ 実施した内容

(1)キョン防除事業

有害鳥獣捕獲や個体数調整事業、指定管理鳥獣捕獲等事業、外来種対策と様々な動物種や捕獲方法で捕獲作業を実施してきた経験と知見を活かし、キョンの根絶に適した捕獲手法を考案し、実施してきた。また、猟犬ではなくキョン探索犬という専門的に訓練された作業犬を自ら育成し活用することで、より効果的な捕獲を実施している(写真1)。

キョンは東京都大島町と千葉県にしか生息しておらず、キョンの捕獲経験を有する人材は全国でもごく少数である。その中で、キョンを根絶するための捕獲手法は、高い捕獲技術とチームワークが要求される特殊な捕獲手法であるため、人材の確保がより困難な状況である。そのため、捕獲コーディネーターとして、実際に捕獲現場で捕獲作業を行いつつ、経験の浅い人材に直接指導するなど、人材育成にも努めている。

（2）市街地新規事業区捕獲コーディネーター業務

市街地におけるキョンの根絶は、様々な課題や制約があるため、根絶の捕獲手法が確立されていない。市街地はいかに低密度化させられるかが喫緊の課題であり、制約の多い中で選択できる捕獲手法を組み合わせ、効果的に捕獲を進めることが重要となる。

捕獲コーディネーターとして、キョンの行動圏や捕獲作業の効率化を考慮し、誘導柵及びびわなの設置計画案を立案した。立案の際には、他の事業で設置された防除柵を有効活用し、コストの削減及び施工時期の前倒しができるよう、誘導柵の設計を行った。また、効果的に捕獲を進めるため、地元事業者への技術的助言も実施した。



写真 キョン探索犬

■ 事業の成果

（1）キョン防除事業

地形や植生に柔軟に対応しながら高い捕獲効率を維持しており、効果的に低密度化ができ、一部地域では一時的根絶も達成している。人材育成に関しても、地域で活躍できるような捕獲従事者が育っている。

（2）市街地新規事業区捕獲コーディネーター業務

市街地においてキョンの生息密度を低下させるには、繁殖力を上回る捕獲圧をかけることと、外部からの流入を少なくすることが重要であった。そこで、現地調査を実施しキョンの利用頻度の高い場所や外部との出入が多い場所を抽出した。それらの調査結果を踏まえ、外部との出入りを防ぎつつ、キョンの行動圏等を踏まえ効果的に捕獲できる場所にキョンを誘導するための誘導柵及びわなの設置案を作成した。また、地元の捕獲業者に対して、調査状況の共有を行い、効果的な捕獲手法について現地で指導を行った。

市街地における捕獲事業は、地元からの理解が得られないと進まない事業であり、各関係機関との調整も密に行う必要があった。特に地元の方々の意見は重要であり優先すべきものである。根絶という目標を達成するためには、少なからず協力を仰ぐことも必要となるため、今後ともコーディネーターとして、地元からの理解を得られる方法で継続していきたい。